

# Project

地方と東京圏の大学生対流促進事業は、香川大学、芝浦工業大学、津田塾大学、東京農業大学が連携して実施しています。地方と東京圏の学生の視点の違いと、専攻する分野を融合させ、4大学の学生と一緒に香川県の課題解決に取り組むプログラムです。2019年度は7つのプログラムを実施し200名を超える学生が参加しました。

対流促進事業における  
他大学との学生交流を通じて  
見た自分の新たな可能性

## 「地域を デザインしてみたい」

医学部看護学科1年  
小谷茂々笑 Kotani Momoe



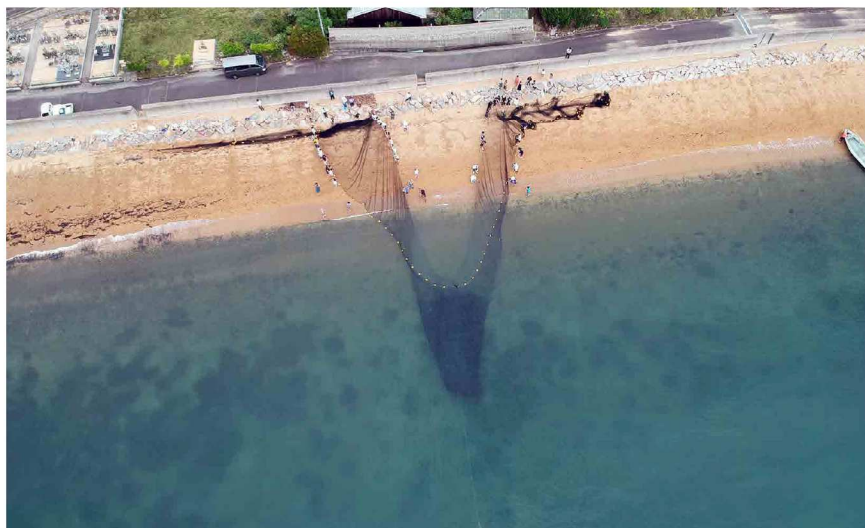
初めての小豆島！船上の海風は気持ちいい！ワクワクとドキドキの旅に出発！美しい瀬戸内海をパシャリ！



グループで小豆島の観光名所その他諸々を散策。小豆島の魅力が盛り沢山。ここは魔法の宅急便のロケ地です^^



ヤマロク醤油さんを訪問。独自の技術で造られた大きな醤油樽と普段見ないような物凄い量の醤油に圧倒されました。



これは地引網漁体験の航空写真！凄腕地元漁師のパワフルさに惚れました。そして、獲れたての海の幸は美味でした。

私は「うまげな小豆島を感じてみたい」という香川大学と東京圏の大学で実施している対流促進事業のプログラム（学内開講科目名：「地域をデザインする（夏季集中）」）に参加しました。私自身、香川県出身ですが小豆島に行くのは初めてで、そうめんとオリーブが有名であるという以外何も知りませんでした。私は医学部看護学科に所属していて、正直なところ「地域をデザインする」なんて、私は場違いなのでは？」と思っていました。このプログラムでは、学部や専門分野は関係ありません。他大学の学生と考えを共有したり仲を深めたり色々な人間性に触れることができ、さらには「自分は何かを創造・創起することが好きである。」という自分の新たな一面を知ることができ、「自分の専門性を地域活性化に繋げたい。」と考えるようになりました。単に単位取得のために気軽に参加したプログラムが、私の将来のキャリアへの意欲向上に繋がるとは思いもしませんでした。何でも挑戦してみるものです。「地域をデザインする」→「地域をデザインしてみたい」に至った私の「→」を、皆さんにもぜひ体験してもらいたいです。



地元の伝統芸能についてお話を伺っています。伝統を受け継ぎ、守っている地元の方々のお話に興味津々です。



瀬戸内国際芸術祭の作品を見学。デザイン系を専攻している学生が多かったこともあってみんな目が輝いています。



小豆島といえば素麺！長い竹を使った流し素麺を美味しく頂きました。"同じ釜の飯を食う"みんな、良い笑顔です。



最終日のプレゼンに向けて各グループ夜遅くまでプレゼン準備。かけがえない仲間と過ごした貴重な時間でした。



最終日。達成感の嵐。眠気と戦いながらも仲間と頑張って仕上げたプレゼンに熱意をこらしました。



き、綺麗すぎる…！夕日が小豆島をより一層名残惜しく感じさせます。何とも言えない温かい気持ちになりました。

# Topics

## 香川大学創立70周年記念行事を実施

香川大学は、令和元年5月に創立70周年を迎え、11月2日に、ホームカミングデーと併せた創立70周年記念行事を開催しました。午前中には、多数の卒業生をお迎えして、香川大学サークル「またたび」の案内により、学内施設を巡る「キャンパスツアー」を実施し、新しく竣工した総合教育棟（DRI棟）等、様々な施設をご覧いただきました。また、全学同窓会的組織である「香川大学校友会」設立に向けての設立総会を開催し、設立が承認されました。午後からは、OLIVE SQUARE 多目的ホールにおいて、卒業生に加え、多数のご来賓、企業の方々をお迎えし、約200名のご参加によ

り、記念式典を挙。式典では、寛善行学長の挨拶に始まり、淵上孝文部科学省高等教育局国立大学法人支援課長、浜田恵造香川県知事、佐伯勇人四国経済連合会会長から、香川大学の創立70周年へ向けた温かいご祝辞をいただきました。その後は、記念動画放映に続き、劇作家・演出家・青年団主宰の平田オリザ氏から「大学教育における演劇の役割」と題した記念講演。さらに、各界で活躍中の卒業生・修了生によるビデオメッセージの放映、起業家卒業生の、三宅徹(株)未来機械代表取締役社長、森雄一郎(株) FABRIC TOKYO 代表取締役社長と寛学長による対談が行われました。



香川大学サークル「またたび」によるキャンパスツアー



記念式典で挨拶する寛学長

## 東京農業大学と連携・協力に関する協定を締結

令和元年10月17日、東京農業大学と香川大学は、香川大学研究交流棟研究者交流スペースにおいて、連携・協力に関する協定書締結式を実施し、協定を締結しました。本協定は、教職員・学生の交流の推進等、教育と研究の両面にわたって広く連携・協力を図り、双方の学術研究の成果を共有すること等により、21世紀における両大学のさらな

る発展を目指すとともに、社会にその成果を還元し、我が国の発展に寄与することを目的とするものです。協定の締結により、農学の幅広い分野で、特色ある教育研究に実績のある東京農業大学との間で、様々な学生・研究者の交流機会とともに、農業や関連産業の振興等、地域社会との連携が拡大することが期待されます。



東京農業大学と香川大学の関係者協定書を掲げる東京農業大学 高野学長(左)と寛学長(右)

## 国土交通省四国運輸局と包括連携に関する協定を締結

令和元年11月14日、国土交通省四国運輸局と香川大学は、包括連携に関する協定書締結式を実施し、協定を締結しました。本協定の締結により、四国運輸局が持っている運輸・観光に係わる様々なデータや課題などを香川大学と共有することで、四国地域における運輸・観光領域の利便性や経済振興に

つなげることが期待されます。すでに香川大学教員と四国運輸局職員による活動グループを立ち上げ、地域における観光・交通・防災対策の課題の分析・考察に取り組んでおります。このような活動を皮切りに、今後、運輸・観光を軸とする地域創生に係る大型のプロジェクト研究の獲得を目指します。



協定書を掲げる四国運輸局 上園局長(左)と寛学長(右)

## 都市圏の大学と連携・協力に関する協定を締結

令和元年12月19日、津田塾大学・芝浦工業大学・香川大学は、高松シンボルタワーにおいて、連携・協力に関する協定書合同締結式及び協定締結記念合同フォーラムを開催。これは、津田塾大学と香川大学、芝浦工業大学と津田塾大学が、包括連携協定の合同締結式を実施したもので、津田塾大学と香川大学

との協定では、教職員・学生の交流の推進等、教育と研究の両面にわたって広く連携・協力を図り、双方の学術研究の成果を共有すること等により、21世紀における両大学のさらなる発展を目指すとともに、社会にその成果を還元し、我が国の発展に寄与することを目的とします。



左から高橋学長(津田塾大)、寛学長(香川大)、村上学長(芝浦工業大)